

「鋼構造接合部設計指針」 改定講習会

主催 日本建築学会 構造委員会 鋼構造運営委員会

後援 開催地都府県建築士会、開催地都府県建築士事務所協会、全国鐵構工業協会、鉄骨建設業協会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築センター、日本鋼構造協会

主旨 本指針は、鋼構造建築の接合部に関する設計指針を可能な限り網羅的に記述することを意図して刊行しました。2006年の第2次改定から5年が経過し、この間に蓄積された技術的知見や関連 JIS（日本工業規格）等の改正を反映させるため、このたび『鋼構造接合部設計指針』（第3版）を発刊する運びとなりました。主な改定点は以下のとおりです。

接合要素と接合部の基本性状（2章）では、F14T級超高力ボルトを本文に記載しました。また、板要素の局所的なちぎれ破断耐力を、支圧による変形を考慮して算定することとしました。

柱梁接合部（4章）では、外ダイアフラム形式中空断面柱梁接合部を本文に記載しました。また、上下階の角形鋼管の柱幅が異なる異幅接合形式および梁端拡張形式について解説を充実させました。さらに、本会『建築工事標準仕様書・同解説 JASS 6 鉄骨工事』および関連図書が2007年に改定されたことを受けて、溶接施工関連の解説を改定しました。

柱梁接合部パネル（5章）では、梁段違い形式接合部パネルについて、両側段違いの場合を含む設計式に改めました。

ブレース接合部（6章）では、制振構造用座屈拘束ブレースの接合部に関する設計の考え方を新たに記述しました。

柱脚（7章）では、塑性変形が期待できるアンカーボルトを使用した露出柱脚について、全塑性耐力を新たに定義しました。

本指針が鋼構造建築の品質と信頼性の向上に貢献することを祈念し、設計・施工に携わる多くの方々が本講習会に参加されることを期待しています。

参加費（テキスト代含む）

1——日本建築学会会員	10,000円
2——後援団体会員	12,000円
3——上記以外	15,000円

テキスト

『鋼構造接合部設計指針』、B5判、約400頁

申込方法 参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した [2 頁目の参加申込書](#)（←クリックしていただいても書式が出ます）と参加券送付用封筒（80円切手貼付、宛名記入）を同封し、お申し込みください。お電話での申込みは受け付けておりません。

開催地・期日・会場および参加申込先等

開催地	期日	会場	定員	申込先	参加費振込方法・振込先
東京	2012年 3月6日(火)	建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)	230名	日本建築学会 「鋼構造接合指針改定講習会」係 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 TEL 03-3456-2057	銀行振込または現金書留 ●三菱東京 UFJ 銀行京橋支店 普通預金口座 2318455 社団法人日本建築学会
大阪	3月9日(金)	大阪会場は定員に達したため受付を終了しました			
名古屋	3月14日(水)	昭和ビル9階ホール (名古屋市中区栄 4-3-26)	150名	日本建築学会 東海支部 「鋼構造接合指針改定講習会」係 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル5階 TEL 052-243-6244	銀行振込 ●三菱東京 UFJ 銀行栄町支店 普通預金口座 0301491 社団法人日本建築学会 東海支部

プログラム

開催地	期日	時間	13:00~13:10	13:10~14:00	14:00~15:00	休憩	15:15~16:15	16:15~17:00
		内容	主旨説明 1章：基本事項	2章：接合要素 3章：継手	4章：柱梁接合部		5章：接合部パネル 6章：ブレース	7章：柱脚
東京	3月6日(火)		田中 剛 (神戸大学)	松本由香 (横浜国立大学)	田中 剛 (前掲)		桑原 進 (大阪大学) 吹田啓一郎 (京都大学)	増田浩志 (宇都宮大学)
大阪	3月9日(金)		田中 剛 (前掲)	松本由香 (前掲)	田中 剛 (前掲)		桑原 進 (前掲)	増田浩志 (前掲)
名古屋	3月14日(水)		吹田啓一郎 (前掲)	佐藤篤司 (名古屋工業大学)	藤田哲也 (日本設計)		吹田啓一郎 (前掲)	寺田岳彦 (清水建設)

※司会は、東京・名古屋会場：寺田岳彦（前掲）、大阪会場：嶋崎敦志（支部役員／大林組）です。

※講師は都合により変更することがあります。

講習会参加申込書

講習会名・会場	「鋼構造接合部設計指針」改定講習会 (会場)			
参加者*1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分*3	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員 (個人会員/法人会員・賛助会員*2) <input type="checkbox"/> 後援団体会員 (団体名・No. 等) <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名		所属部署		
所在地	〒			
電話		FAX		
E-mail				
参加費	円 (支払方法は、会場によって異なりますのでご注意ください)			
支払方法・ 申込方法*3*4	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、申込書 (振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付) と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
	<input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です)	銀行名・支店名	銀行	支店	
	ご依頼者(社)名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、□に✓を記入してください)			

*1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名 (フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。

*2：法人会員・賛助会員は、1口につき1名を会員扱いとします。

*3：該当区分の□に✓を記入してください。

*4：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

通信欄